

タカギ 混合栓施工説明書

蛇口一体型浄水器 みず工房 コンバージェンス

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者をお願い致します。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。
- 注意** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- 記号は、してはいけない 「禁止」 内容を示しています。 記号は、必ず実行していただく 「強制」 内容を示しています。 記号は、触れてはいけない 「接触禁止」 を示しています。

警告

- 本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
- 必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをすることがあります



やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

故障の原因になります 給湯温度は60°C以下で使用してください。60°Cを超える高温でご使用になると浄水カートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。

注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります 新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

止水弁付き水抜き継手（寒冷地仕様のみ） は水抜き以外の目的で開けないでください。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

記号は、してはいけない 「禁止」 内容を示しています。 記号は、やけどする危険を示しています。

記号は、してはいけない 「禁止」 内容を示しています。 記号は、やけどする危険を示しています。

注意

60°C以下 記号は、やけどする危険を示しています。 記号は、止水栓を示しています。

注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります 新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

注意

止水栓 記号は、止水栓を示しています。

設置条件

■水圧条件

■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。

■給水、給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

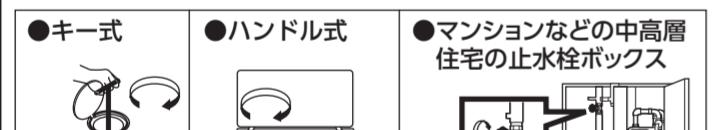
※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。

※逆戻水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉など異物を多く含む水には使用できません。

1.施工方法

1-1 水道配管の止水栓を閉め水抜きを行う

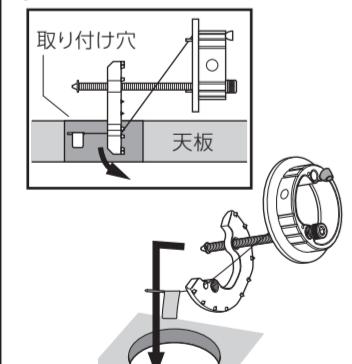
配管部の止水栓などにより通水を止め、水抜きを行います。



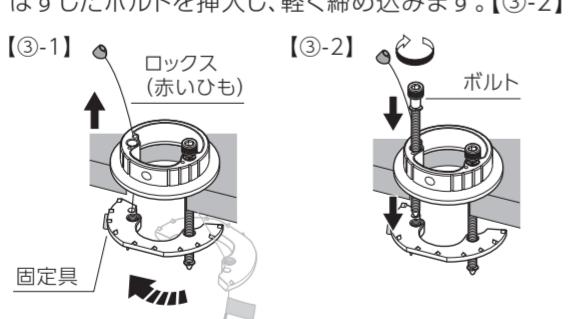
●シンク下の止水栓



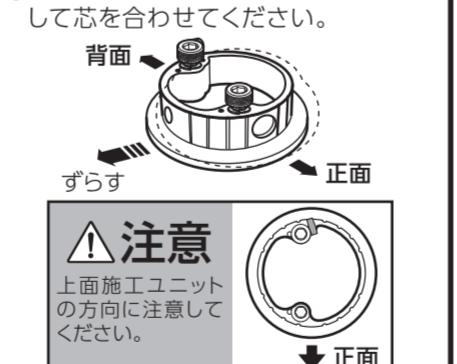
②取り付け穴にいれます。



③ロックス(赤いひも)を引っ張り、固定具の位置を合わせます。【③-1】はすしたボルトを挿入し、軽く締め込みます。【③-2】



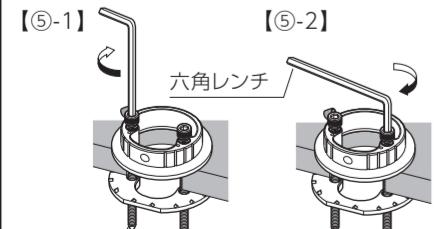
④取り付け穴の前までずらして芯を合わせてください。



注意

ロックス(赤いひも)は切らないでください。その後の施工ができなくなります。

⑤上面施工ユニットを手前に押してた状態で、六角レンチ(4mm)でボルトを左右均等に締めます。【⑤-1】は六角レンチを横にして、ボルトを1回転増し締めし、上面施工ユニットを確実に固定します。【⑤-2】

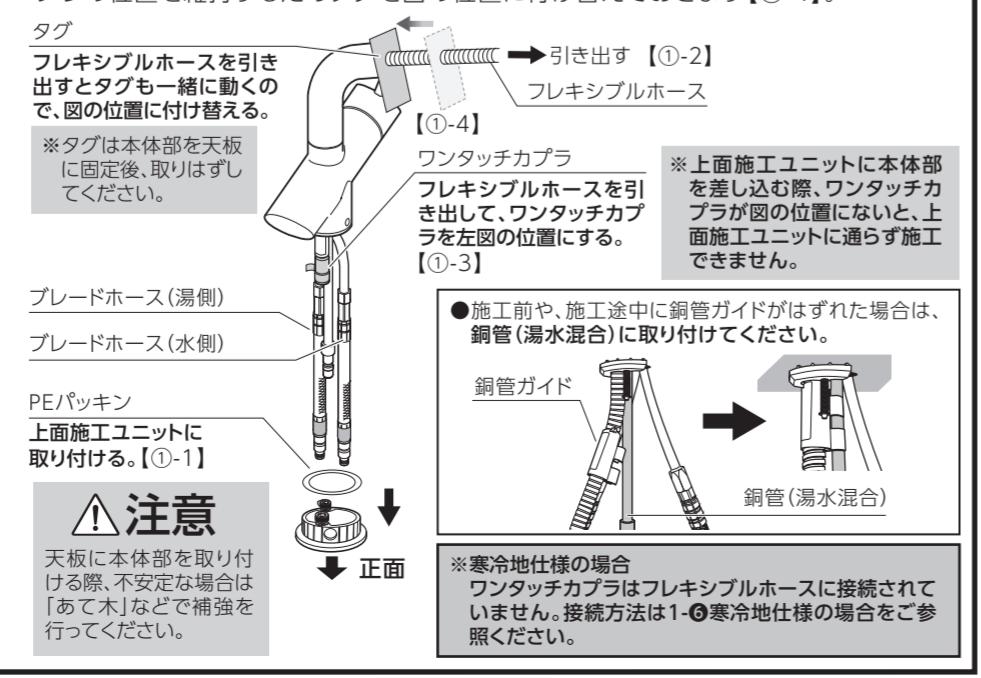


※台座部に30°から15°毎にミゾをつけています。このミゾを自安角度をつけて蛇口を取付けることができます。（キッチンのコーナーに取付け穴があるタイプ）（上から見た図）

※上面施工ユニットを正しく取り付けることで本体の固定強度が低下し、本体部にガタが発生する原因となります。

1-3 本体部の取り付け

①上面施工ユニットにPEパッキンを取り付けます【①-1】。その後、フレキシブルホースを引き出し【①-2】、ワンタッチカプラを図の位置にします【①-3】。また、ワンタッチカプラの位置を維持するためタグを図の位置に付け替えておきます【①-4】。



! 注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

製品を落したり、強い力や衝撃を与えないでください。

止水栓にネジ式カプラを取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。

ネジ式カプラ

※設置条件参照

高水圧地区では減圧弁を設置してください。

減圧弁

※設置条件参照

水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生するおそれがあります。

※設置条件参照

銅管を曲げる際は、銅管が固定具（金属部分）付近で折れ曲がらないように指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。

固定具

※設置条件参照

しっかりと固定！

定期的に止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行なえない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。

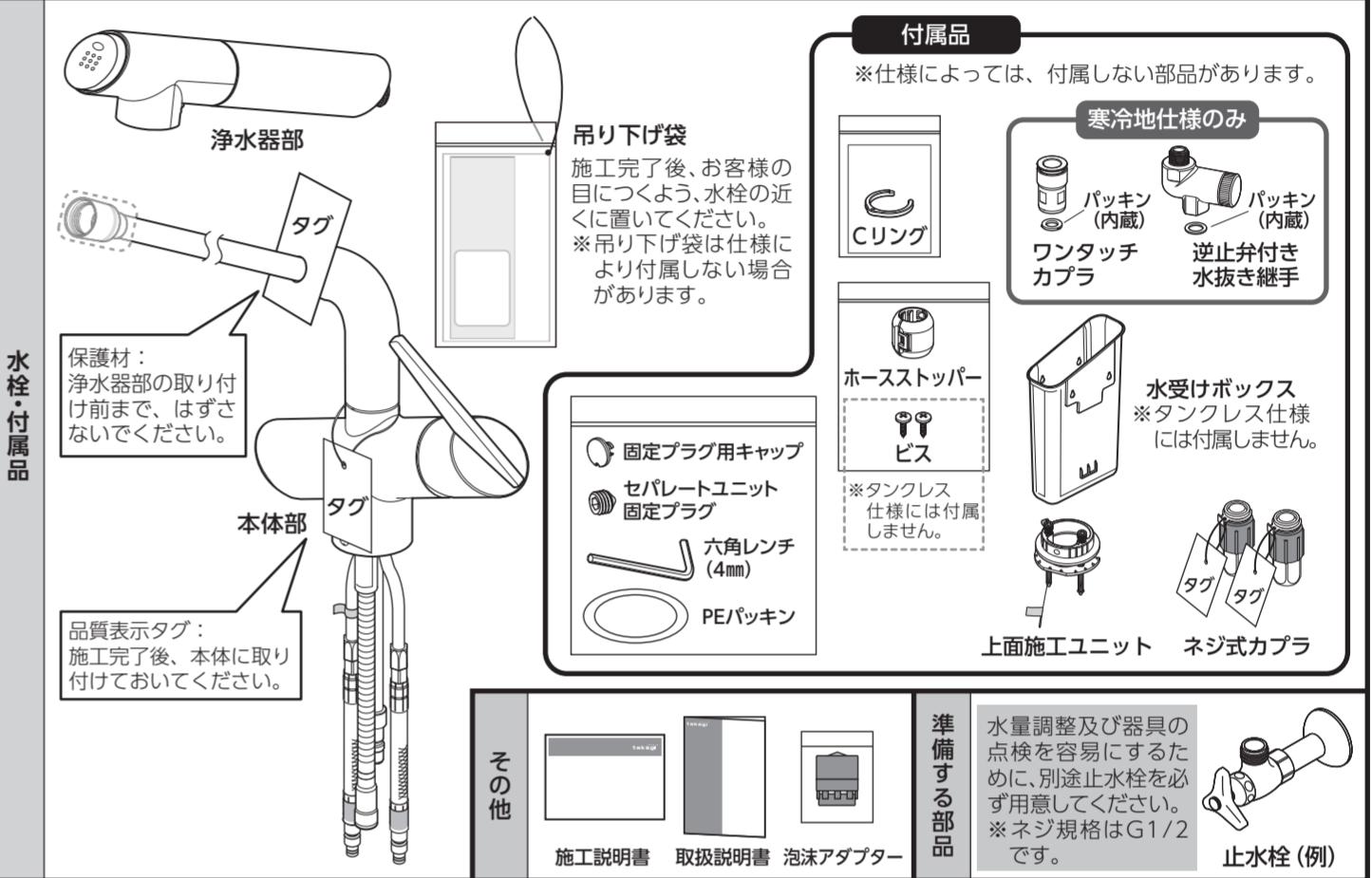
※設置条件参照

施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

※設置条件参照

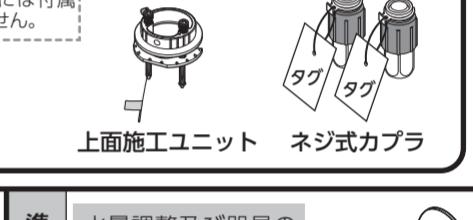
冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。（水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください）

部品の確認



付属品

※仕様によっては、付属しない部品があります。



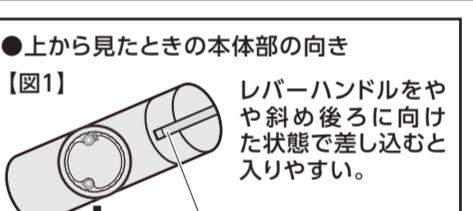
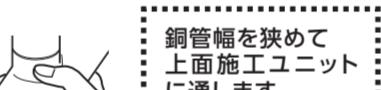
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

②本体部のレバーハンドルの位置を【図1】の状態にし、上面施工ユニットに差し込みます。
（※このとき、湯/水両方の銅管を内向きに束ねるように幅を狭めてから差し込みます）

<ポイント>

①上面施工ユニットに通りやすいように銅管を狭める。

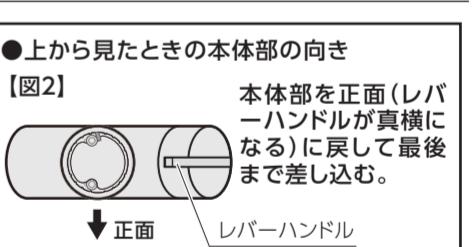
②正面から見て、本体部のレバーハンドルがやや斜め後ろに向いた状態にして差し込む。



③ワンタッチカプラが上面施工ユニットのネジ部の位置まできたとき、レバーハンドルの位置を【図2】の状態にし、本体部のネジ穴と上面施工ユニットの凹部を合わせて最後まで差し込みます。

<ポイント>

ワンタッチカプラが上面施工ユニットのネジ部の位置まできたとき、本体部の向きを正面に戻し、最後まで差し込む。



④セパレートユニット固定プラグで本体部を固定します。
本体部に浮きがないよう注意してください。
(微調整の際は、セパレートユニット固定プラグを少し緩め調整し、調整後は増し締めしてください)

<ポイント>

セパレートユニット固定プラグ

上面施工ユニットに本体部をかぶせたあと、ネジ穴にセパレートユニット固定プラグを六角レンチ(4mm)で締め込んで、本体部を固定してください。

※タグは天板に本体部固定後、取りはずしてください。

1-4 止水栓にネジ式カプラを取り付ける

①ネジ式カプラのCリングをはずし、「ゆるむ→」方へ回します。

※ネジ式カプラは平行ネジ（Gネジ）です。

※止水栓がテーパーネジ（Rネジ）の場合は、

テーパーネジ（Rネジ）用アダプターを使用してください。

<ポイント>

止水栓にネジ式カプラを取り付けます。

※ネジ式カプラは平行ネジ（Gネジ）です。

※止水栓がテーパーネジ（Rネジ）の場合は、

テーパーネジ（Rネジ）用アダプターを使用してください。

<注意> 水漏れのおそれがあります

平行ネジにはシールテープを巻かないでください。

止水栓にネジ式カプラを取り付けた際、充分にネジ式

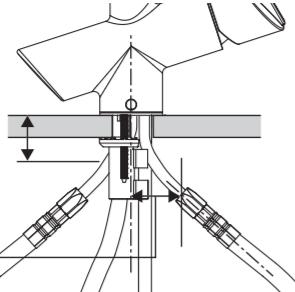
カプラが締め込まれているか確認してください。

※ネジ式カプラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

※パッキン

1-5 銅管(湯側・水側)を曲げてネジ式カプラとブレードホースを接合する

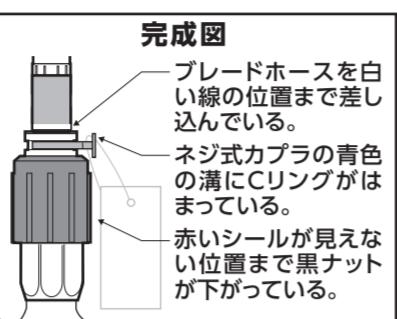
①銅管(湯側・水側)を取付面から60~70mmの位置で曲げます。



②ブレードホースを白い線までネジ式カプラに差し込みます。

④Cリングをネジ式カプラの青色の溝にハメ込みます。

③ネジ式カプラの赤いシールが見えなくなるまで黒ナットを締めます。



△注意 水が出なくなることがあります

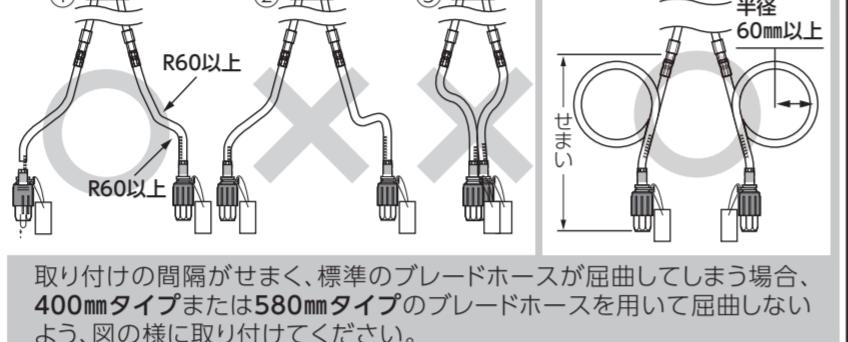
ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

①ブレードホースの折れに注意してください。

ブレードホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあります。施工時には最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、注意してください。

②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

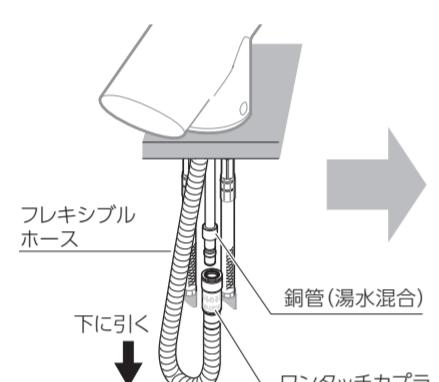
③ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。



取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合、400mmタイプまたは580mmタイプのブレードホースを用いて屈曲しないよう、図の様に取り付けてください。

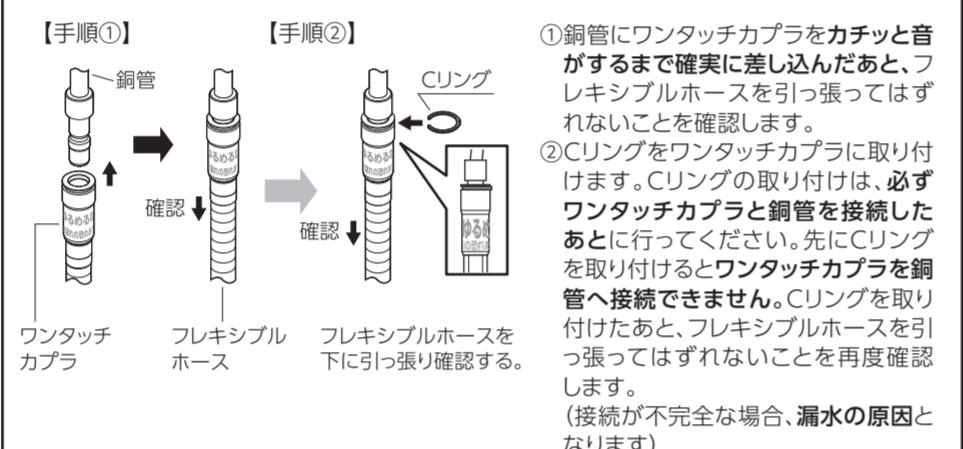
1-6 フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

①フレキシブルホースをシンク下に引き出し銅管(湯水混合)に接続してください。



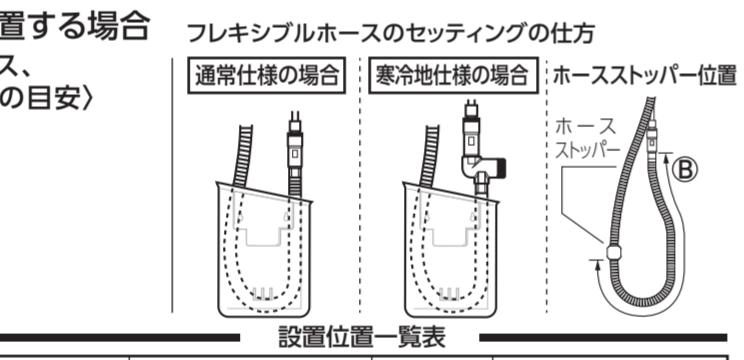
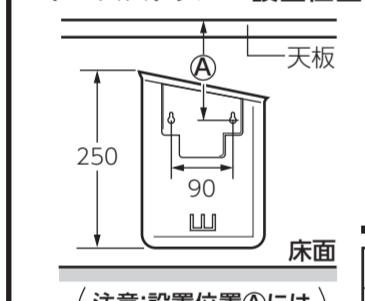
△注意 漏水の原因となります

必ず手順①)~手順②)に従って、Cリングをワンタッチカプラに取り付けてください。



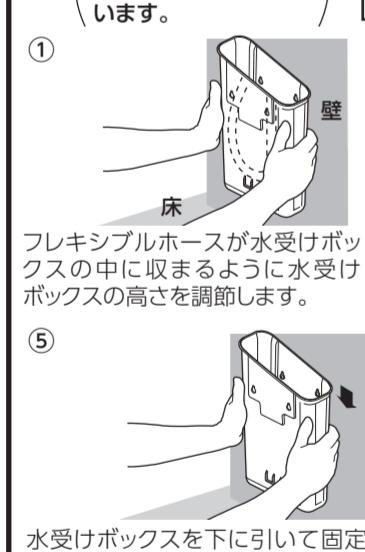
1-10 水受けボックスを設置する場合

(シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安)



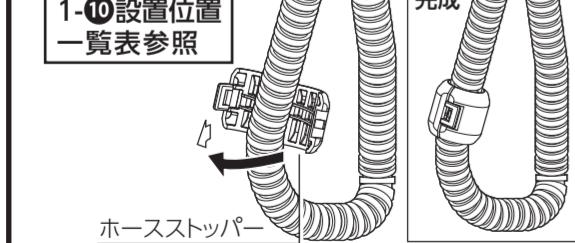
△注意

●水漏れ事故防止のため、当社製水栓金具「みず工房」以外のものに取り付けないでください。
●水栓本体のスパウトから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。
●フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないように、ホースストッパーの位置を調節してください。
●変形するおそれがあります。40°C以上にならないような場所に設置してください。

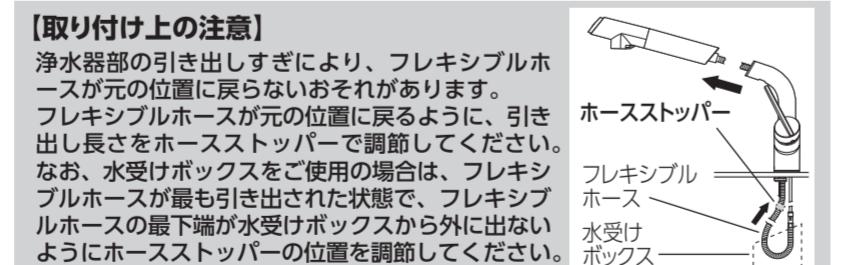


1-11 ホースストッパーを取り付ける

フレキシブルホースをはさみ込みます。



ホースストッパー位置は1-10の(シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安)を参照してください。



タンクレス仕様の施工の仕方

銅管(湯水混合)を曲げて、フレキシブルホースが止水栓に接触しないようにする

1. 銅管(湯水混合)を正面からみて10°右に曲げます。

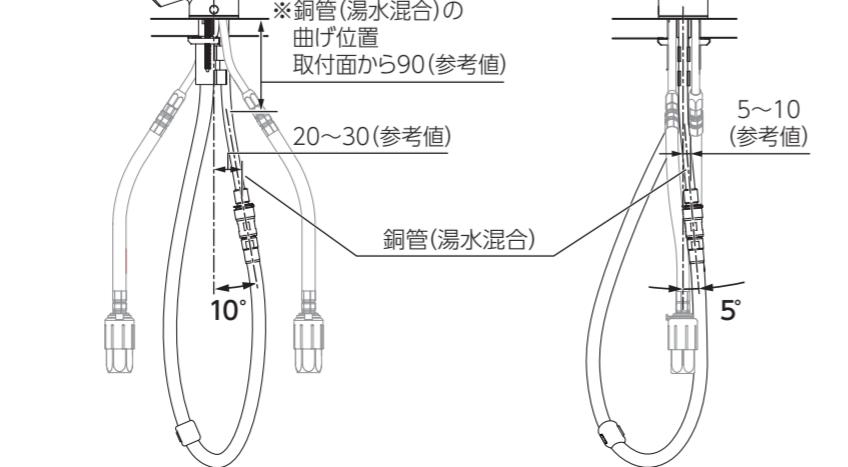
*銅管を曲げるときは、折り曲げ位置に注意してください。銅管ガイドが銅管からはずれ、フレキシブルホースがスマーズに取り扱えない可能性があります。

2. 銅管(湯水混合)を正面からみて5°奥に曲げ、止水栓や他部位に接触しないようにします。

*フレキシブルホースの出し入れを繰り返して、止水栓および他部位に干渉しないことを確認してください。

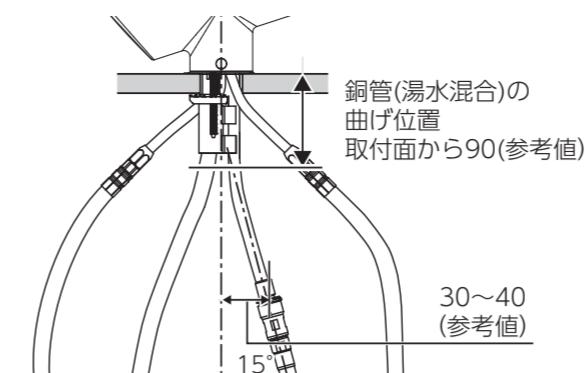
*寒冷地仕様も同様に行ってください。

1. ■正面

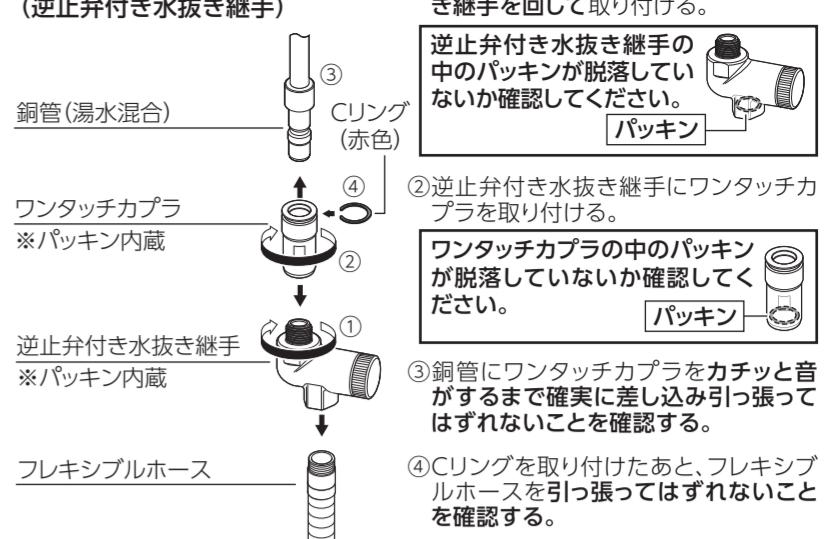


2. ■側面

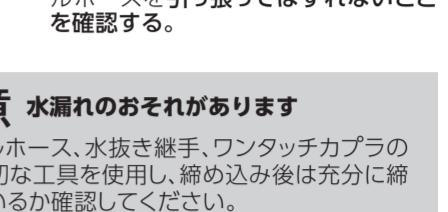
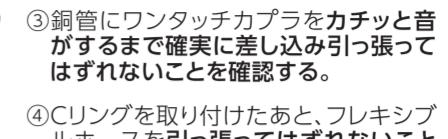
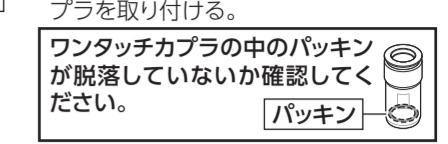
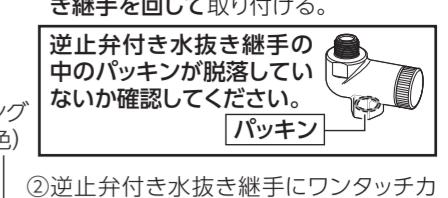
②銅管(湯水混合)を正面からみて15°右に曲げます。



寒冷地仕様の場合 (逆止弁付き水抜き継手)



①フレキシブルホースに逆止弁付き水抜き継手を回して取り付ける。



△注意 水漏れのおそれがあります

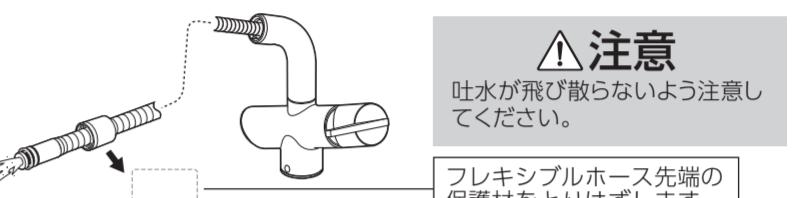
フレキシブルホース、水抜き継手、ワンタッチカプラの接続には適切な工具を使用し、締め込み後は充分に締め込まれているか確認してください。

1-7 水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を開けます。

1-8 净水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを吐水状態にして手前(奥)に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。
その後レバーハンドルを止水状態にしてください。

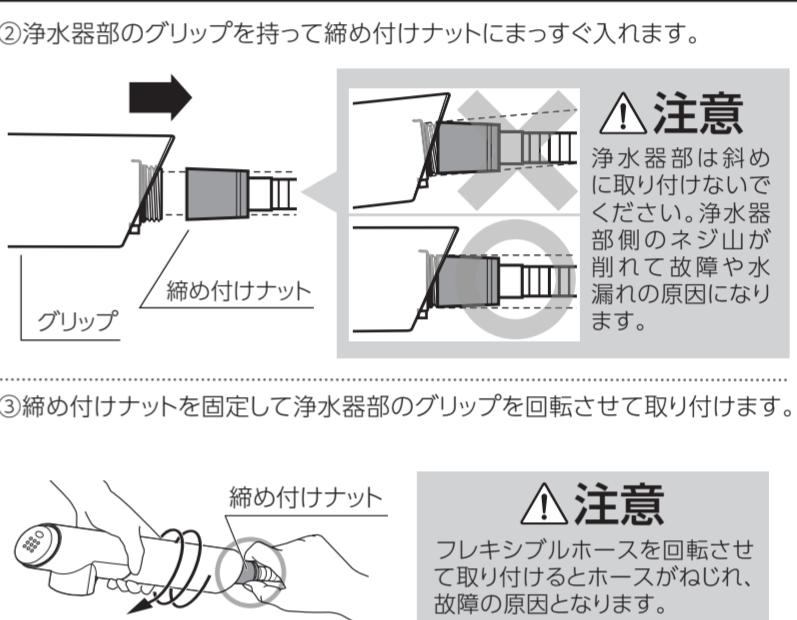
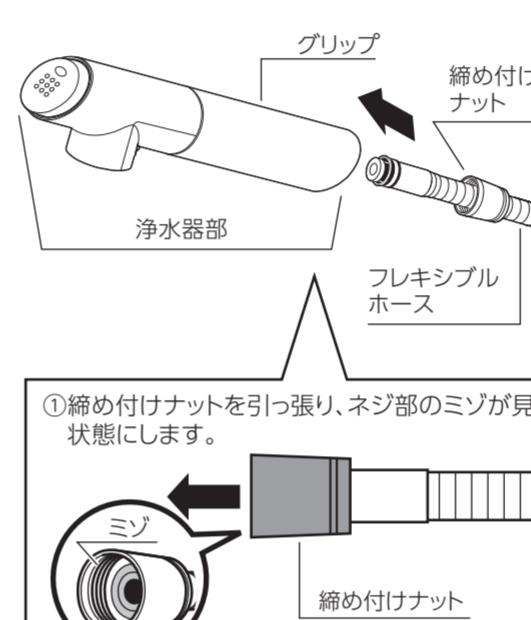


△注意

吐水が飛び散らないよう注意してください。

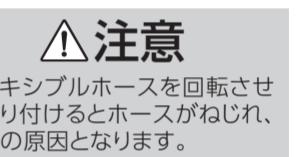
フレキシブルホース先端の保護材をとりはずします。

1-9 净水器部を取り付ける



△注意

浄水器部は斜めに取り付けないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

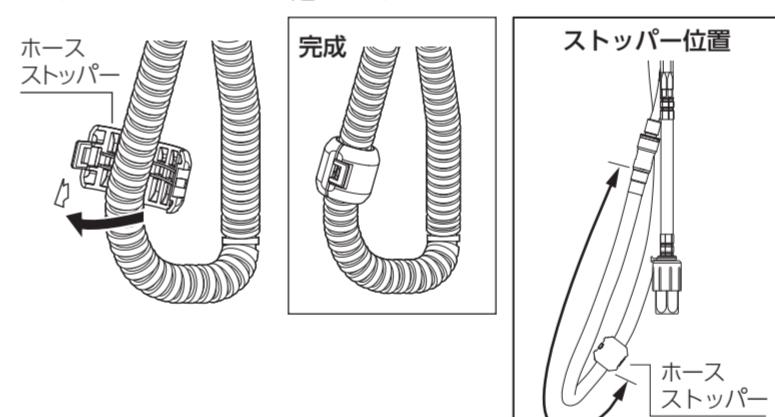


△注意

フレキシブルホースを回転させるとホースがねじれ、故障の原因となります。

ホースストッパーを取り付ける

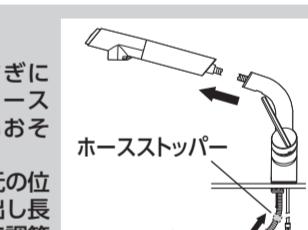
フレキシブルホースをはさみ込みます。



設置位置一覧表(タンクレス仕様)

	フレキシブルホースの長さ	ホースストッパー位置
通常仕様	1100mm	385mm
寒冷地仕様	1100mm	435mm

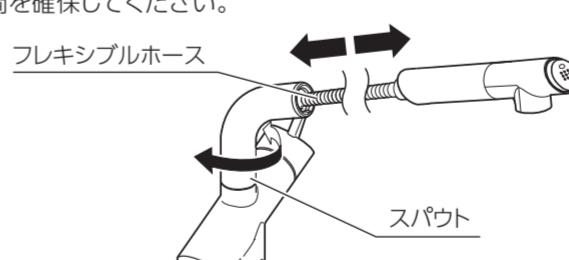
[取り付け上の注意]
浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。
フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。



2.取り付けが終わったら

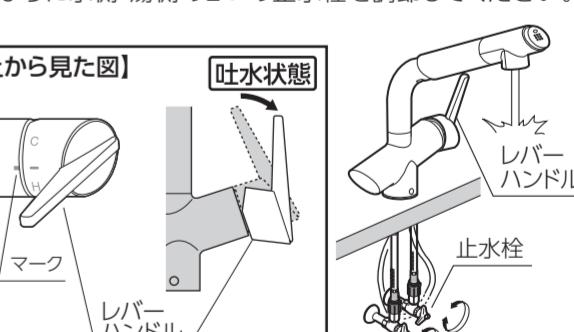
2-1 引き出し・収納がスマーズに行えるか確認する

スパウトを左右に動かして浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。スマーズに入れられない場合は、フレキシブルホースが給水・給湯の銅管部や、水受けボックスに干渉している可能性があります。位置を調整してフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



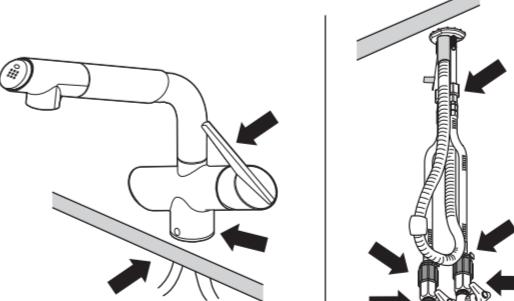
2-2 止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



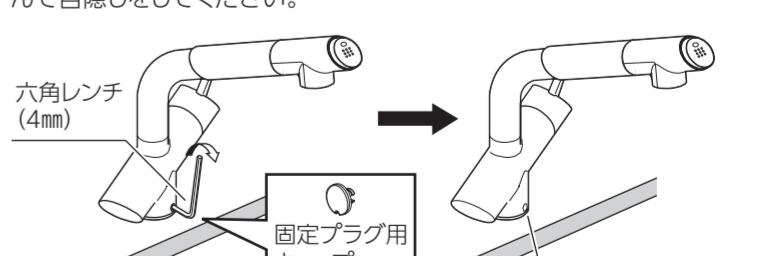
2-3 各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カプラおよび水栓から水漏れないことを確認してください。



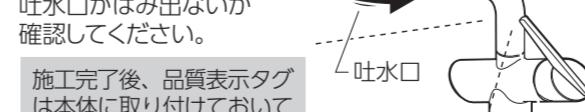
2-4 本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、固定プラグ用キャップをはずし、六角レンチ(4mm)でセパレートユニット固定プラグを増し締めてください。増し締めしたあと、本体部に固定プラグ用キャップをハメ込んで目標にしてください。



2-5 シンクから吐水口がはみ出ないかをチェックする

施工完了後は、シンクから吐水口がはみ出ないか確認してください。



免責事項

以下の事項にて発生した損傷や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

- 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに因る不具合。
- 建築躯体の変形(强度不足・ゆがみ)など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
- 電気・給水などの供給が定められた以外の環境に起因する故障および損傷。
- 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し、かびなどの現象。
- 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター 0120-328-413 24時間電話受付 (年中無休)

株式会社 タカギ

<http://www.takagi.co.jp/>